

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所（新庁舎） 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 1月19日（日）

第3日曜日は「家庭の日」です。

今年一年も、「おはようございます」「いただきます」「おかえりなさい」「おやすみなさい」など、家族みんなが声を掛け合い、家族全員の心が通い合う家庭にしていきましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

ハンガリーから木の実の人形が来てくれました

生涯学習課 職員

千曲市はハンガリーのホストタウンとして、2020東京オリンピック・パラリンピックの卓球選手の事前合宿地となっています。また、2019年は日本・ハンガリー外交関係開設50周年の記念の年になります。

そのハンガリーから昨年の夏、千曲市の小さな子どもたちのために、かわいい木の実の人形キップコップ（男の子）とティップトップ（女の子）が戸倉創造館の特別なステージに遊びに来てくれました。

この人形はハンガリーのブダペスト議会によって1992年に設立された劇団コリブリの演者により、命を吹き込まれます。コリブリとはハンガリーの言葉でハチドリを意味するそうです。この人形劇はハンガリーの絵本作家マレーク・ベロニカさんの絵本「キップコップとティップトップ」が原作で、二人の森の中の様子を描いた物語です。さあ、人形劇の始まりです。

薄暗いステージの中央に小さな明るい秋の森が現れます。その周りを子どもたちが輪になって取り囲みます。まだ見たことのない異国の人形劇に子どもたちは興味津々、一瞬でその世界に引き込まれます。

葉っぱのヘリコプターでティップトップは風の中を旅しています。泊るところを探して、ハリネズミ、蝶々、リス、カエルと出会いますが、どのお家もティップトップにはあいません。そんなところに同じ木の実の姿をしたキップコップと出会います。「もうひとりじゃない」「二人は遊んだり、おしゃべりしたり、疲れると葉っぱに座りました。そして、葉っぱに乗って世界一周の旅に仲良く出発します。そんなお話です。今回上演された人形劇は、すべて日本語により行われました。演者二人によるものでしたが、事前にセリフをすべて暗記したそうです。外交関係開設150周年の事業の一つとして行われた人形劇でしたが、鑑賞した子どもたちの笑顔がとても印象的でした。今後もホストタウンとしていろいろなイベント計画していきますので、ご期待ください。

～育成センターの活動より～

新しい年「ねずみ(子)」年を迎えました。今年は、夏に東京オリンピック・パラリンピックが開かれます。ハンガリーの卓球選手もこの千曲市で合宿を行う予定です。良い年になるといいですね。

昨年末の活動の様子や今後の予定についてお知らせいたします。

1. 11月29日に少年補導委員会「視察研修」：児童養護施設「愛育園」「恵愛」に行ってきました。
2. 八幡「武水別神社大頭祭」に際し、12月10日・11日・12日・13日に特別巡回を実施。
3. 育成センター会議1月8日(水)、第6回定例補導委員会1月9日(木)で、以下の内容を協議。
 - (1) 11月の強調月間における環境チェック活動実施結果の報告
 - (2) 10・11・12月の補導活動を振り返って～補導日誌より
 - (3) 3月までの補導活動：①定例巡回補導：1月1回：14日から20日 2月2回：3日から5日、17日から19日 3月1回：4日から10日
②PTAとの年度末合同補導：3月16日～26日
4. 一年間の補導活動を振り返り次年度へ生かすために、補導委員へのアンケートを実施。



補導日誌から



【環境チェック活動の巡回調査から】

青少年健全育成協力店としての活動に感謝!!

各店舗オーナー様：環境チェック活動の趣旨を十分にご理解いただき、また、丁寧な対応をしていただきました。ありがとうございました。

【必須店舗巡回活動より】

本屋さんでは・・・

11月14日(木) 3:00pm～5:00

本屋さんでは有害図書を置いていない店と置いてある店があるようです。有害図書が目につくところにあり、心配なお店もありました。

コンビニエンスストアでは

11月15日(金) 3:00pm～5:00

コンビニエンスストアには有害図書はありませんでした。たばこ・アルコール類はレジで身分証明を提示してもらった等の確認を行っていただいているようです。また、料理酒もレジの時にボタンを押してもらってしっかり確認してくれています。「子どもだけでは来店しない」ことにもなっているようです。

健全育成へ向けた力強い支援に感謝

11月15日(金) 3:00pm～4:20

「青少年に有害な地域環境実態調査」を行いました。店舗全て経営者及び従業員が青少年の健全育成に対して深く理解してくれており、快く対応してくれました。当方としては青少年の健全育成の為に引き続き尽力して頂くことをお願いしてきました。

健全育成へ向けた力強い支援

11月19日(火) 2:45pm~4:30

漫画喫茶ではインターネットカフェ53室の24時間営業で、青少年はおよそ10人/日くるそうです。利用時間は16歳、18歳未満者はそれぞれ20時、22時まで、授業時間中の利用がないように努めていることです。また、漫画喫茶には有害出版物等はなく、パソコンにはフィルタリング措置をしているとのことでした。酒の提供時の年齢確認も実施しているとのことでした。たばこの自販機は入口の少し入った所に設置されていましたが、従業員への教育も行われているとのこと、長野県青少年サポーターの団体登録証を見せていただきました。

スーパーマーケットでは酒・たばこを扱っていますので年齢確認をし、青少年には売らないとのことや駐車場はときどき見回り、夜はチェーンで入れないようにしているとのことでした。従業員への教育も年2回実施しているようです。

電気店ではスマートフォン等のフィルタリングの利用促進に努めているとのことや図書、ビデオはなく、パソコンソフトは販売しているというお話でした。客として、小学生だけで来ることはないが、高校生は来るとのことでした。

カラオケボックスの中には、利用時間が16歳未満18時、18歳未満22時までであるが、保護者同伴の場合は時間制限していないようです。小学生は同伴でも23時まで。酒類の提供はしているが、年齢確認は行っており、たばこは取り扱いしていないようです。

アダルトビデオ等取扱店もありましたが、店内には区分された成人向けコーナーがあり、書籍、ビデオ等はありませんでした。レンタル時の年齢確認は行われているようです。

【 定時巡回活動より 】

素直な子どもたちです

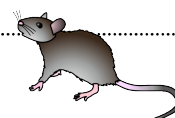
12月3日(火) 3:00pm~5:00

駅周辺はいつになく閑散とし、南側駐輪場にはあいかわらず2台の放置自転車がありました。暖房のきいたトイレは男女共にきれいでした。駅・ギャラリー・売店の各職員さんが現在は「問題ありません」とおっしゃっていました。駅交番、警察官の方も「問題ありません」との事でした。

西中学校の校庭では、野球部が準備中でした。ケガしない様に頑張れ!!八幡小学校の校庭には男女でそれぞれボール遊び。「寒いから気を付けて遊んでネ」「そして早く家に帰ろうネ!!」

編集室の窓

「ねずみ年」を迎えて



一般に日本に伝わっている十二支の由来は、神様が動物たちに「1月1日に集まった順にごほうびをあげるよ」と声がけをし、集まった順に十二支が決まったというお話があります。ネズミは牛の背中に乗って神様の所に向かい、到着したところでピョンと背中から降り、ちゃっかり一番になったということです。この十二支の中にネコがいないのは、ネズミが「1月2日だよ」とうそをつき、ネコは遅れてしまい十二支には入れませんでした。その後、ネコはネズミを見ると追いかけるようになったというお話です。

また、ネズミは「ネズミ算」という言葉があるように『子孫繁栄』の象徴でもあるようですが、厚労省の統計では、2018年の出生数をみると91万8397人と前年より2万7000人あまり少なかったとのこと。このように、どんどん少子化が進んできている現在、子どもたちが心身ともに健全に育ってくれることを願わずにはられません。

環境チェックでは、市内の各店舗の皆様には丁寧な対応をしていただいております、温かく子どもたちを見守ってくれていることがわかり、感謝の気持ちで一杯です。

今後も『地域の子どもは地域で育てる』気持ちを持ってご協力いただけるとありがたいです。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「私の夢」

私の夢は、獣医さんになることです。理由は、けがをしている動物や病気の動物たちを助けてあげたいからです。私は家で犬を飼っています。家で飼っている犬が具合が悪くなると病院につれていきます。その時に薬をくれて、その薬を飲んでいるとすぐによくなってきます。予防注射をするときもすぐにやってくれます。とてもいいねいに対応してくれたり優しい対応をしてくれたりします。なので、私はこの仕事をしたいと思いました。

私は、動物たちが安心できるような工夫ができる獣医さんになりたいと思います。そして、みんなから信頼されるような獣医さんになりたいです。しっかりとけがや病気を治せるように、今からしっかりと勉強をして、大人になってから困らないようにしたいです。私は動物が大好きなので、しっかりと命を守ってあげたいです。

(6年 町田 頼里)

「夢」

僕の将来の夢は、『プロ野球選手』です。

僕は、4年生の頃に全く興味の無かった野球を、親友にさそわれました。それで見学に行ったら、「な、なんて面白いんだ！！」と思い、野球に興味を持ちました。それで両親に話したら、許可をもらいました。そして野球部に入団しました。たくさんの練習してだんだん上達して、任されたのはショートでした。ショートは、ボールがよく飛んでくるので、難しいポジションです。任された限りは全力でやろうと思いました。しかし、ミスがでたりして、すぐに落ち込んでしまうことがよくありました。この落ち込みやすいところが僕の弱点です。現在は、自信を持ってショートをやっています。エラーをしても「もういっちょ来い！！」という自信にかえることで、自分を強くしています。バッティングでも同じでした。三振になればすぐに泣いてしまって、すぐに落ち込んでしまいました。しかも、ストライクゾーンに入っていないボール球も振ってしまったこともありました。なので、4.5年の頃は全然ヒットができませんでした。しかも、僕は1番バッターなので、すごくプレッシャーがかかります。すると、家に帰ったらお父さんがアドバイスをしてくれました。

「三振してもいいから、おもいっきり振れ！！」

このお父さんの言葉がぼくを変えてくれました。この言葉を聞いてから、自信がつくようになりました。お母さんも毎回おいしいご飯を作ってくれるので元気も出ます。なので今は「オレなら打てる！！」ということを打席でいつも思っています。そしてヒットの本数も増えたと思います。

台風19号の被害で、お父さんの会社が約1.5メートルも浸水してしまいました。そのため、お父さんがしばらく僕の野球に来られなくなってしまいました。他にも被害を受けているチームもある中で、野球ができることにも、毎日支えてくれているお父さんお母さんにも、指導してくれている監督・コーチにも、いつも一緒に野球をしている仲間などの僕のまわりの全ての人に感謝し、野球を続けていきたいです。

(6年 中島 新)